

## 第6回 市長と話そうの様子

開催日時	令和7年6月16日(月) 18:30 ~ 20:00	場所	臼杵市役所 臼杵庁舎 中会議室
団体名	臼杵市PTA連合会		
団体概要	市内の小中学校PTAで情報を共有しながら連携し、親の学びや繋がりあいの場を作ることを目的に研修大会への参加や企画、親睦などの活動を行っています。		
話し合いのテーマ	①子どもたちが平等に社会体育・部活に参加できる機会を！ ②水泳の授業の拡充について ③給食で食育、もう一歩先へ！ ④より多くの保護者が、臼杵について知れる機会を		
参加者	6名(団体メンバー5名、西岡市長)		

### 対話の様子

対話では、4つのテーマに沿って活発な意見交換が行われました。参加者からは、以下のようなお話やご意見がありました。

テーマ①子どもたちが平等に社会体育・部活に参加できる機会を！

- ・ 昨今の社会体育や部活は、少子化により単独チームではメンバーが揃わず、合併や合同チームにしないと存続できない現状がある。

テーマ②水泳の授業の拡充について

- ・ コロナ禍では水泳の授業ができず、コロナ以降も猛暑により授業が中止になるケースが多く、今は泳げない子どもが多いので水泳の授業を拡充して欲しい。
- ・ 猛暑日が多い夏場に、濡れた髪を放置していると衛生的に気になるという保護者の声も聞く。また、紫外線を気にすることも多い。

テーマ③給食で食育、もう一歩先へ！

- ・ 給食畑の野菜とほんまもん農産物の取り組みは給食に浸透しているが、地元でとれる海産物にも目を向けてほしい。プラネタリーヘルス※の観点を取り入れた総合的な食育を推進してほしい。  
※プラネタリーヘルス：地球環境の健康と人間自身の健康が相互に依存し合う関係にあると認識し、両者の健全なバランスを追求する概念

テーマ④より多くの保護者が、臼杵について知れる機会を

- ・ 昨年、「臼杵の海を知ってもらいたい」という思いから、子どもと保護者を集めて佐志生海岸で「スポGOMI※」を試験的に開催した。わずか1時間で大量のごみが集まり、校区を超えた子どもたちや親同士のつながりも生まれるなど非常に有意義な試みだった。今年度は臼杵のまちなかを舞台に開催する予定。  
※スポGOMI：スポーツとゴミ拾いを掛け合わせた新感覚スポーツで制限時間60分以内に拾ったごみの質と量を競う新競技

市長からは、以下のような話がありました。

- ・ 私自身、役員としてPTAに参加していた時期があったが、東日本大震災の後だったこともあり、学校、保護者、地域が一体となって防災イベントを開催するなど、さまざまな取組を行った。その中で、親同士のつながりが生まれ、子どものためだけでなく自分自身にとっても非常に良い経験になった。皆さんの子どものためと思う意見をしっかりと受け止めて、子育てしやすい環境を整えていきたい。

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。“市長と話そう”では、市民の皆様の声を聴き、一緒に考え、よりよい臼杵市の未来を描くため、今後もさまざまな団体と対話を行っていきます！

